

剣道男子団体

V 31年ぶり学鎌

古豪対決制し

剣道男子団体はともに勝てば四半世紀ぶりの優勝で、1964年以来的の顔合わせとなった古豪対決。鎌倉学園が日大を3-

昨年の県高校総体主者の横浜との5回戦で0-1から二本を奪い逆転のお膳立てをすると、5連覇を狙う桐蔭学園との準決勝

でも決勝の一本を取った。「逃げないで勝負できるように練習してきたおかげで16歳は笑う。大将本田の存在も光った。横浜戦で勝ち越しの一本を決めた3年生も「後がない中で決められた。去年、関東大会に行けなかった分、今年こそは絶対に」

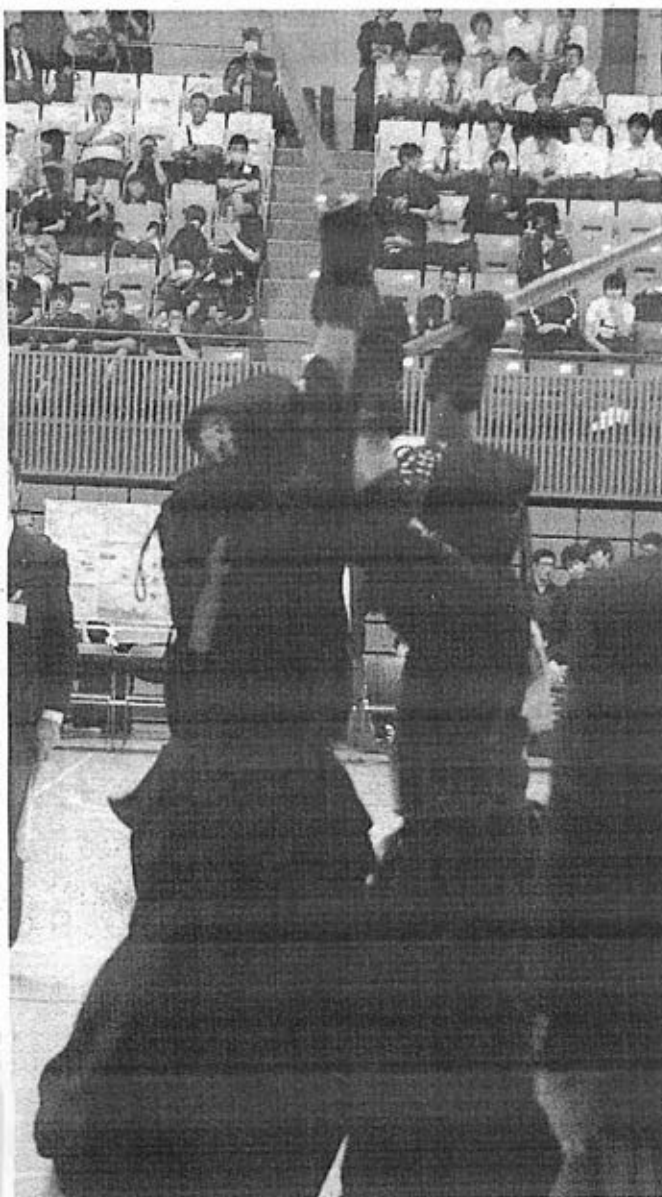
出場すると決めていた」と満足げだ。快挙を成し遂げた喜びもチームはすぐに胸にしまった。主将の中堅岡本は「初めて自分たちが追われる立場になる。もう一度、気持ちを引き締めなければ逆の立場になる。インターハイに何としても出場したい」。今度は41年ぶりの県高校総体制覇が目標だ。

歴史動かしたチーム力

0で下し、31年ぶりに歴史を動かした。松原剛監督(46)は「ほかの強豪のように特待生をとっているわけでもない。個の力ではなく、チームとして一戦一戦をつないで戦ってきた」と胸を張った。

決勝は先鋒水口聡が下段からすくい上げるように小手を決め先制。2-0で迎えた副将戦で2年・外山が決めた。「後ろの大將を信頼しているから自分も思いきりいけた」。延長戦に入るや、相手の懐に飛び込み、振り上げた竹刀を面にたたき込んだ。

その外山は躍進の立役者だ。



(深沢 剛、写真も)

【関東高校県予選 剣道男子決勝
鎌倉学園一日大】延長戦となった副将戦で面を決め、31年ぶりの優勝を決めた鎌倉学園・外山(左)
=小田原アリーナ